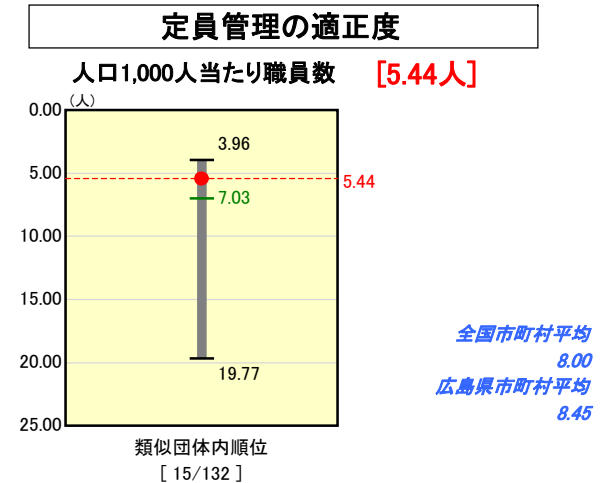
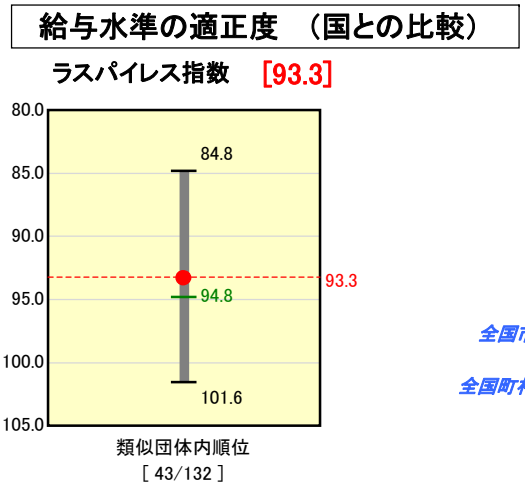
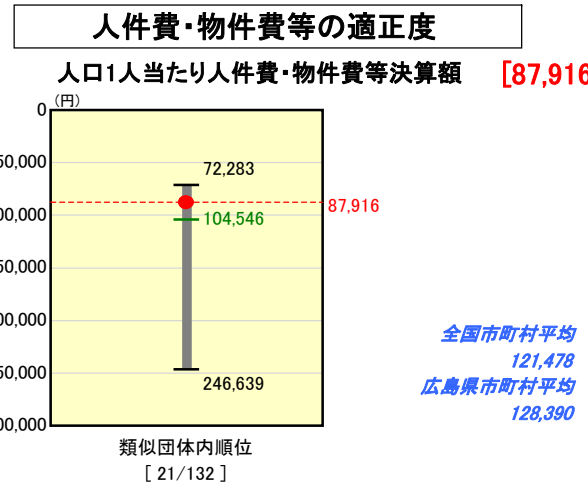
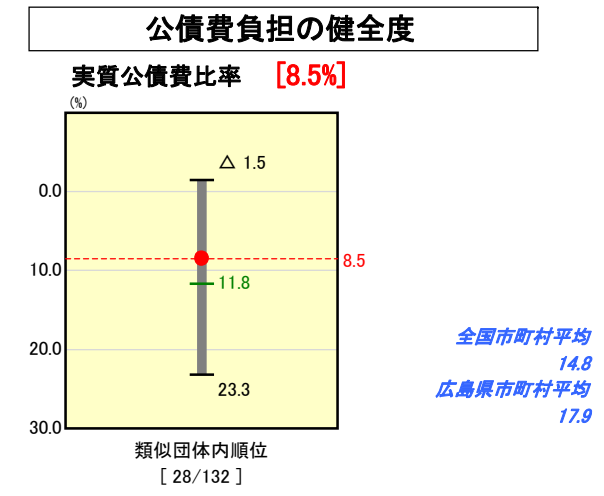
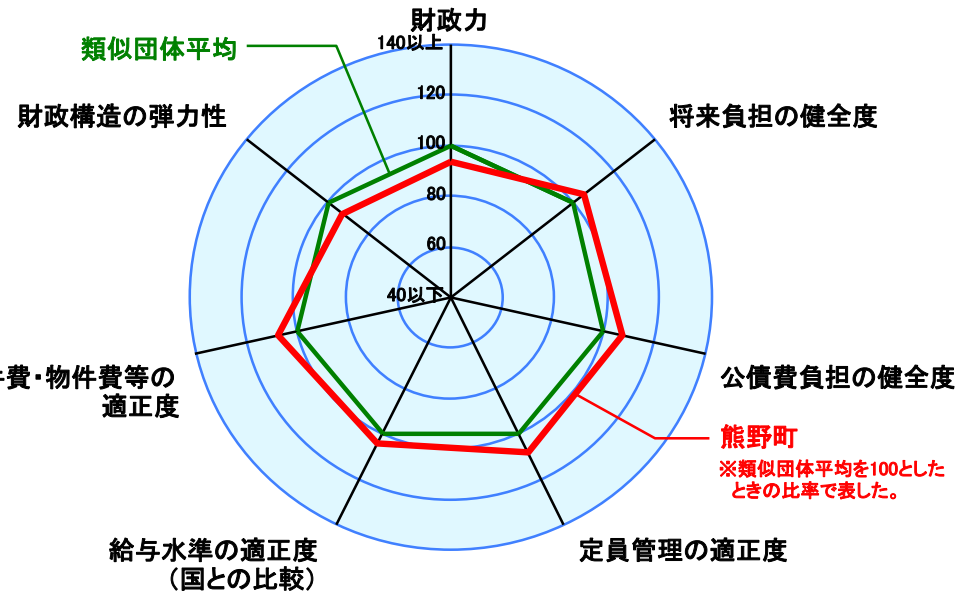
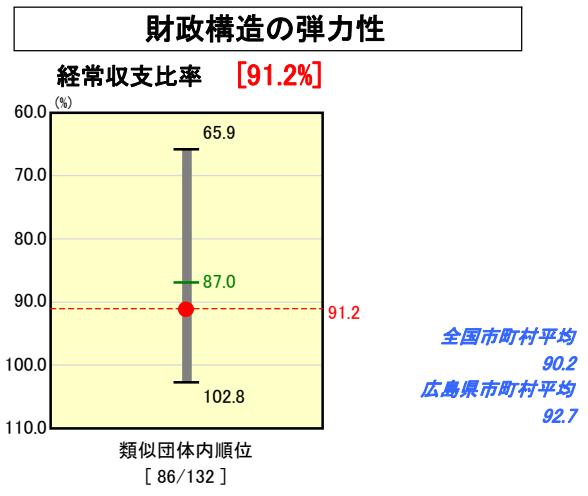
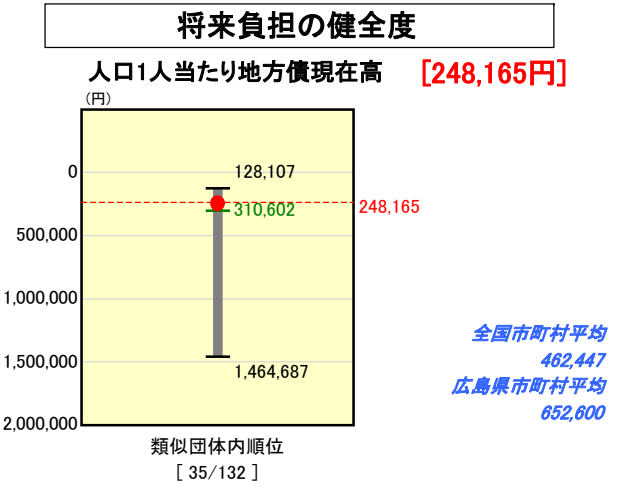
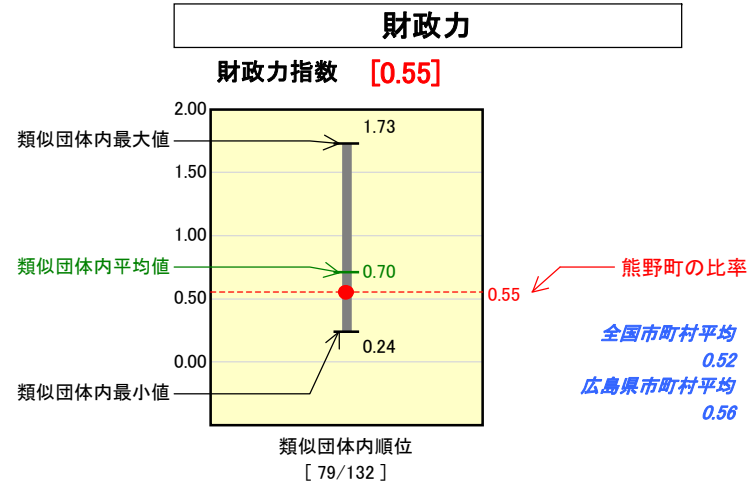


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

広島県 熊野町

人口	25,927人	(H18.3.31現在)
面積	33.62	km ²
歳入総額	6,762,718	千円
歳出総額	6,424,216	千円
実質収支	213,764	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】 (平成16年度 0.532、平成17年度 0.556)
平成17年度は、税源移譲による所得譲与税の増額、景気回復による市町村民税(主に法人税)の増額により、前年度と比べ財政力指数が向上している。今後とも財源確保ならびに税徴収にも努めていく。

【経常収支比率】 (平成16年度91.7%、平成17年度91.2%)
前年度経常収支比率と比較すると0.5%下回っており、広島県市町村平均経常収支比率と比較しても1.5%下回っている状況である。このことについては昨今の経常経費の削減努力による成果であり、その内容としては繰出金の減額等が主な要因である。今後とも集中改革プランに基づき、歳出の削減に努めていく。

【人口1人あたり人件費・物件費等決算額】
全国市町村平均と比較しても33,562円下回っている状況であり、定員管理の適正化、経常経費の削減努力等による成果である。後述にもあるが、職員の定員については今後とも削減に努めていく。

【ラスパイレス指数】
当町においては、従来から指数は低く推移しており、平成17年度においても類似団体平均を1.5%下回

り、全国町村平均とほぼ同率である。

【人口1人当たり地方債現在高】 (平成16年度237,004円、平成17年度248,165円)
前年度と比較すると1人当たり11,161円の増額となっており、主たる要因としては施設整備事業費等の起債発行によるが、全国市町村平均額と比較すると依然として低い水準を保っている。今後とも計画的な起債の発行を行っていく。

【実質公債費比率】
当町では公共事業等の見直しなど、事業の合理化、効率化に努めたことにより、類似団体平均値11.8%に対し8.5%と非常に低い数値をキープしている。

【人口1,000人当たりの職員数】
本町では第3次行政大綱改革プランに基づき職員の削減に努め、平成17年4月1日では定員170名となっている。この結果、人口1,000人当たりの職員数は全国市町村平均を2.56人下回り、類似団体平均を1.59人下回っている状況であり、当初目標も達成している状況である。今後平成22年4月1日までは定員155名(15人減)の目標を掲げ、更なる削減に努めていく。